



むなかたの消防

管内の概要	1
地域紹介	2
消防本部(署)の配置現況	4
組合・消防本部沿革	6
組合の組織	12
消防本部・消防署の組織	13
消防本部の事務分掌	15
消防署の事務分掌	17
消防相互応援協定の状況	19
消防本部の主なできごと	20

財政の状況	31
過去3年間ににおける消防負担金状況	31
平成31年度宗像地区事務組合 一般会計当初予算	32
平成29年度消防費決算額と 一般会計決算額との比較	32
平成29年度消防費決算と 消防費基準財政需要額	33

予 防

総 務

職員の階級別定員および実員	22
職員の階級別任用、退職状況	22
職員の配置状況	22
職員の階級別年齢	23
職員の階級別勤続年数	24
職員の資格(講習)取得状況	25
職員の研修状況	26
消防大学校の教育状況	27
職員の表彰受賞状況	27
訓練・指導等の実施状況	28
職員の教養実施状況	28
消防力の状況	29
面積・人口および世帯数に対する 常備消防力	30
消防団の現況	30

防火対象物の現状	34
消防用設備等の設置状況	35
防火管理者を必要とする事業所の状況	36
防火対象物の予防査察状況	37
建築同意事務処理状況	38
中高層建築物(5階以上)の現状	39
工事整備対象設備等着工届 事務処理状況	40
法令に基づく届出処理状況	40
危険物施設の現況	41
危険物施設立入検査実施状況	41
危険物規制事務処理状況	42
宗像地区防災協会	43
宗像地区幼少年婦人防火委員会	44
防火団体構成表	45

警 防

車両・資器材等

現有車両の諸性能	46
消防車両等の配置状況	48
救助資器材の配置状況	50
消防水利の現況	50
救急資器材の配置状況	52

火 災

平成30年中の火災概況	53
火災の状況	54
火災種別件数	55
火災種別損害額	55
市別出火件数	56
市別損害額	56
宗像市内の火災状況	57
福津市内の火災状況	58
月別出火件数及び損害状況	59
過去10年間の出火件数の推移	60
原因別出火件数	61
過去10年間の主な出火原因の推移	61
建物用途別出火件数	62
建物火災の出火原因	62
覚知別出火件数	63
曜日別出火概況	63
時間別出火概況	64
気象別出火件数	65
月別・市別出動車両・出動人員	66

救 急

平成30年中の救急概況	67
過去10年間の救急出動件数及び	
人口の推移	68
過去10年間の3大事故種別(急病・交通事故	
・一般負傷)の出動件数の推移	69
管内総括表	70
市別総括表	71
救急自動車による現場到着所要時間別	
出動件数の状況	72
医療機関収容所要時間	73
曜日別出動件数	74
時間別出動件数	75
傷病程度別搬送人員	76

年齢別搬送人員	77
救急隊員が行った応急処置等の状況	78
急病にかかる疾病分類別搬送人員	79
応急手当普及啓発活動状況	80
消防隊による救急活動状況	81

救 助

平成30年中の救助概況	82
管内総括表	83
主な救助活動	83
市別救助出動件数	84
月別救助出動件数	84

通 信 指 令

119番受信状況	85
----------	----

消 防 団

消防団の活動	86
消防団の組織	87
福岡県消防協会	
宗像地区連絡協議会の組織	89
消防団員の定員および実員	89
消防団の出動状況	89
消防ポンプ車等の装備状況	89

宗像地区は、福岡県北部に位置し、福岡市と北九州市という2つの政令指定都市の中間にあるという立地の良さと、東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線および国道495号線により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。人口減少時代に突入している現在においても、人口を維持し続けています。



宗像市日の里から玄界灘を望む

また、北東には四塚の峰が連なり、西は玄界灘に面し、白砂青松の地は玄海国定公園の一角をなしており、古墳や住居跡が点在し、玄界灘を中心に活躍した「宗像海人賊」によってさまざまな大陸文化がもたらされ、宗像大社、鎮国寺、宮地嶽神社をはじめとする国宝や重要文化財にも指定された神社、仏閣等も点在し、「古事記」や「万葉集」にも地名がみられるなど、古から栄えたことを物語っています。

さらに、福岡県と宗像市、福津市は協力して「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置して、世界遺産登録に向けて官民一体となった取り組みを推進し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録の国内候補に選ばれ、平成28年1月28日に正式版推薦をフランス・パリのユネスコ世界遺産センターに提出し、受理されました。平成29年5月6日に、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について、イコモス(国際記念物遺跡会議)より、「記載」が適当(ただし、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を除く)との勧告がなされました。さらに7月9日には、ユネスコの世界遺産委員会により、イコモスによって除外された残りの構成資産も世界文化遺産に登録されることが決まりました。

管内の面積・人口および世帯数

(平成30年12月31日)

構 成 市	面 積(km ²)	人 口(人)	世帯数(世帯)
宗 像 市	119.94	97,128	42,480
福 津 市	52.76	64,706	27,200
合 計	172.7	161,834	69,680

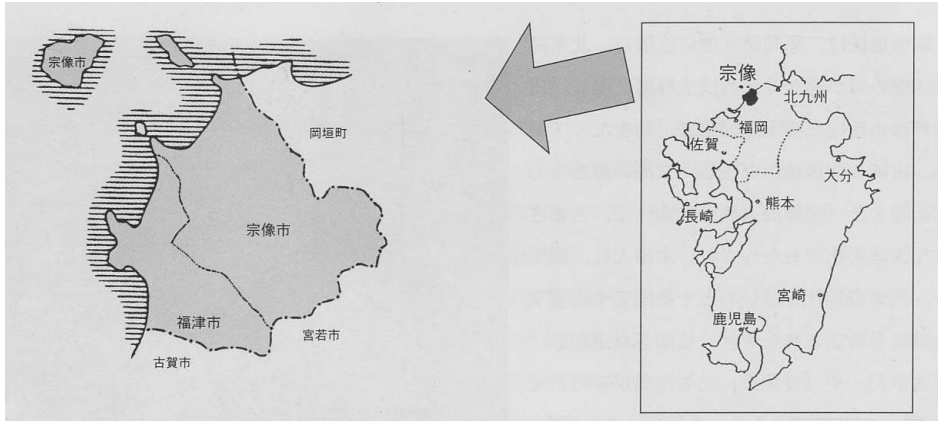
※市町村合併の状況

平成15年4月1日宗像市と旧玄海町が合併。新「宗像市」となる。

平成17年1月24日旧福岡町と旧津屋崎町が合併。「福津市」となる。

平成17年3月28日旧大島村が宗像市へ編入合併。現在の「宗像市」となる。

地域紹介



宗 像 市 MUNAKATA

- 人 口 / 97,128人
●世帯数 / 42,480世帯
●面 積 / 119.94km²
「海・山・川に育まれ、教育・文化と歴史がいきるコミュニティのまち」



海上神幸「みあれ祭」

◆宗像市のプロフィール◆

福北大都市圏のほぼ真ん中に位置する宗像市。市の北西部は玄界灘に面し、白い砂浜の海岸線と樹齢200年以上の黒松並木が続くさつき松原は、玄海国定公園の中でも屈指の景観を誇ってます。市内には、日本最古の神社である宗像大社や弘法大師が開基した鎮国寺、装飾古墳の桜京古墳など多くの歴史的遺跡が点在しており、玄界灘の孤島沖ノ島では、純金製指環、青銅鏡、ペルシャカットガラスなど約12万点もの国宝や重要文化財が発掘され、別名「海の正倉院」と呼ばれており、この沖ノ島(宗像大社沖津宮)、小屋島、御門柱、天狗岩、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮及び宗像大社辺津宮が世界文化遺産に登録されました。

また、美しい自然や歴史的文化遺産に恵まれた良好な環境の中、市内には2つの大学が立地し、総合文化施設である宗像ユリックスやむなかたリサーチパークなど、学術都市としての特徴をもっています。

福 津 市 FUKUTSU

- 人 口 / 64,706人
 - 世帯数 / 27,200世帯
 - 面 積 / 52.76km²
- 「人を、明日を、誇るまち。
福津。」



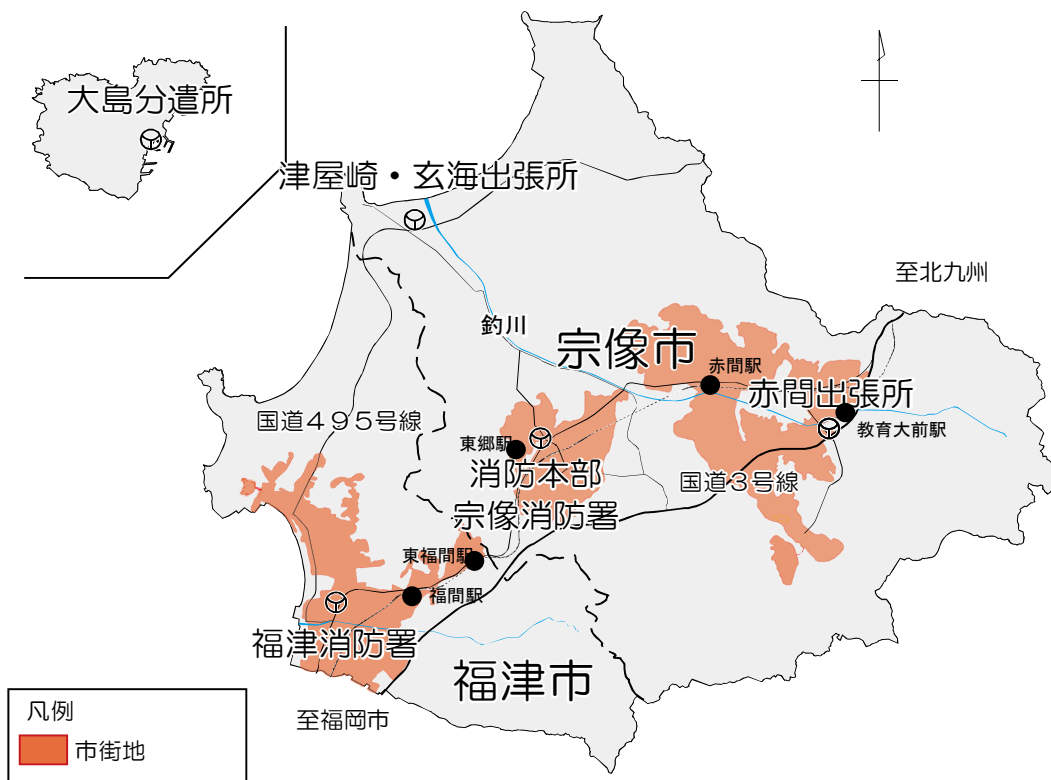
福 間 海 岸

◆福津市のプロフィール◆

福津市は、福岡県の北部で福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、西側は玄界灘に面しています。また、東部を山、西部を海に囲まれ、特に海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、昭和31年に玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観を形成しています。一方、交通網は、東西にJR鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と併行して国道495線号が走っています。さらに、近くには九州自動車若宮インターチェンジ、古賀インターチェンジもあり、広域的な交通利便性にも富んでいます。このため、福津市は宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令指定都市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割をもっています。また、平成29年7月9日に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」として、福津市北部の勝浦・奴山に所在する新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群が世界文化遺産に登録されました。

消防本部(署)の配置現況

管内地図



(平成31年4月1日現在)

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像地区消防本部		敷地面積 4520.23㎡	職員数32人 (内再任用者2人) 車両台数 3台	TEL (0940) 36-2425 FAX (0940) 37-0011
宗像消防署		鉄筋コンクリート造 及び鉄骨造 2階建 建築面積 1397.38㎡	職員数58人 (内再任用者5人) 車両台数 14台	

区 分		庁舎全景（所在地）	庁舎の構造	職員・車両	摘 要
宗 像 消 防 署	赤 間 出張所	 宗像市徳重2丁目8番1号	敷地面積 1,118.31㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 294.64㎡ 延べ面積 402.41㎡	職員数18人 車両台数 3台	TEL (0940) 32-6837 FAX (0940) 35-5195
	大 島 分遣所	 宗像市大島1650-2	敷地面積 645.00㎡ 鉄骨ブロック造 平屋建 延べ面積 160.46㎡ (倉庫等を含む)	職員数3人 (内再任用者1人) 車両台数 1台	TEL (0940) 72-2310 FAX (0940) 72-2546
福 津 消 防 署	福 津 消防署	 福津市西福間1丁目1番27号	敷地面積 1,051.03㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 292.73㎡ 延べ面積 501.64㎡ (倉庫等を含む)	職員数29人 (内再任用者1人) 車両台数 5台	TEL (0940) 43-0521 FAX (0940) 43-7034
	津屋崎・玄海出張所	 宗像市牟田尻1860-41	敷地面積 1,165.00㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 214.55㎡ 延べ面積 307.28㎡	職員数8人 車両台数 2台	TEL (0940) 62-3815 FAX (0940) 62-1206

組合・消防本部沿革

(設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災(死者2人、重軽傷者9人)が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。

(過 程)

昭和 49 年 (1974)	4 月	1 日	初代組合長 由良半三郎氏就任
	6 月	1 日	消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長 宗實就任
	7 月	13 日	日本消防協会から広報車が寄贈される
	7 月	31 日	宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定
	9 月	1 日	消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設
	10 月	1 日	消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始
	10 月	1 日	消防吏員40人採用 (内38人が福岡県消防学校初任教育に入校)
	10 月	25 日	大島分遣所建設用地の確保決定 (大島村と借地契約を締結：無償期間2025年3月31日まで)
	10 月	15 日	消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工
昭和 50 年 (1975)	3 月	17 日	日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される
	3 月	20 日	福岡県消防学校初任教育(38人)を修了し、実務に就いた
	3 月	31 日	消防庁舎(3署所)建築工事が完成
	4 月	1 日	消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始
	4 月	1 日	消防吏員11人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	1 日	宗像町サイレン遠隔操作開始
	10 月	16 日	救助工作隊結成
昭和 51 年 (1976)	2 月	18 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入
	4 月	1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	16 日	二代目組合長 天野敏樹氏就任
	7 月	31 日	救助工作車購入
	10 月	1 日	消防吏員1人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月	15 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	11 月	22 日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
	12 月	7 日	本部敷地内に車庫1棟を建設
昭和 52 年 (1977)	3 月	1 日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
	3 月	31 日	救急無線取付工事完了
	6 月	6 日	人員搬送車を購入
	6 月	13 日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
	10 月	1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	29 日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
昭和 53 年 (1978)	3 月	24 日	(有)蔭田モータースから査察車が寄贈される
昭和 54 年 (1979)	1 月	20 日	本署用地所有権移転登録完了
	10 月	1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	25 日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11 月	1 日	本署消防訓練塔着工
	12 月	11 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12 月	20 日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成

昭和 55 年 (1980)	1 月 22 日	本署仮設車庫完成
	2 月 7 日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3 月 13 日	本署消防訓練塔完成
	8 月 10 日	本署自家発電設備設置
	8 月 31 日	本署通信指令室増改築
昭和 56 年 (1981)	12 月 1 日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施(宗像市日の里)
	4 月 1 日	消防本部名称変更(宗像郡消防本部から宗像地区消防本部)
	4 月 1 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 30 日	本署、タイプ室及び給湯室増改築
	10 月 25 日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
昭和 57 年 (1982)	11 月 15 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈、本署に配備
	2 月 15 日	二代目消防長 山内伸夫就任
	3 月 30 日	福岡分署敷地拡張用地(301㎡)購入
	6 月 1 日	無線制ぎょサイレン(宗像、福岡、津屋崎、玄海)設置
	6 月 21 日	福岡分署車庫シャッター取付工事完了
昭和 58 年 (1983)	8 月 10 日	福岡分署敷地拡張工事竣工
	8 月 20 日	消防無線空中線改修
	9 月 30 日	福岡分署訓練塔(鉄骨造)完成
	11 月 1 日	本署訓練塔(鉄骨ALC)完成
	11 月 4 日	事務連絡車購入、本部に配備
昭和 59 年 (1984)	12 月 27 日	本署屋内訓練場改修
	12 月 27 日	本署倉庫兼書庫(鉄骨プレハブ造)完成
	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 31 日	査察車購入、本部に配備
	10 月 9 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
昭和 60 年 (1985)	11 月 20 日	消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
	3 月 4 日	乗用車購入、本部に配備
	4 月 1 日	三代目消防長 坂本守正就任
	5 月 2 日	指揮車購入、福岡分署に配備
	10 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
昭和 61 年 (1986)	10 月 12 日	救助工作車購入、本署に配備
	10 月 22 日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車が寄贈され、福岡分署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 7 日	調査車購入、本署に配備
	5 月 14 日	広報車購入、本部に配備
昭和 62 年 (1987)	5 月 24 日	人員搬送車購入、本署に配備
	6 月 16 日	福岡分署改築工事竣工
	9 月 3 日	消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	9 月 10 日	資機材運搬車購入、本署に配備
	8 月 18 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
昭和 63 年 (1988)	3 月 15 日	本部(署)庁舎増改築工事竣工
	5 月 26 日	福岡県総合防災訓練実施(玄海町鐘崎)
	6 月 2 日	三代目組合長 的場重郎氏就任
	9 月 1 日	本署通信指令室の移転工事着工

平成 元年 (1989)	2 月 1 日	本署通信指令室の改築工事完了
	2 月 1 日	消防緊急情報システム運用開始
	3 月 17 日	救急自動車購入、赤間出張所に配備
	4 月 1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 1 日	赤間出張所建設工事着工
	9 月 27 日	(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(1)が寄贈され、赤間出張所に配備
平成 2 年 (1990)	9 月 30 日	赤間出張所建設工事完了
	10 月 9 日	赤間出張所実働開始
	4 月 1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 17 日	(社)日本損害保険協会から救急自動車(2)が寄贈され、赤間出張所に配備
	7 月 20 日	神湊出張所建設工事着工
	11 月 20 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成 3 年 (1991)	12 月 20 日	神湊出張所建設工事完了
	12 月 26 日	神湊出張所実働開始
	3 月 27 日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車(3)が寄贈される
	4 月 1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 30 日	福岡分署仮眠室ベット改修工事完了
	7 月 25 日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了
平成 4 年 (1992)	10 月 30 日	訓練塔(主塔)改修工事完了
	3 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	3 月 31 日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(81.82㎡)
	4 月 1 日	消防吏員10人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 15 日	大島分遣所内装工事完了
	10 月 12 日	四代目組合長 瀧口凡夫氏就任
平成 5 年 (1993)	11 月 27 日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(45.05㎡)
	4 月 1 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	財務会計処理のためのコンピューター導入
	7 月 10 日	福岡分署シャッター取替工事完了
	10 月 4 日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入
	2 月 28 日	日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される
平成 6 年 (1994)	3 月 17 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る
	4 月 1 日	四代目消防長 多賀富男就任
	4 月 1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 19 日	消防組合設立20周年記念式典開催
		広報用ビデオ「出動!!ファイヤーファイター」制作
		20周年記念誌「消防宗像(20年の歩み)」作成
平成 7 年 (1995)	7 月 29 日	指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備
	9 月 6 日	福岡無線中継局更新
	11 月 11 日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置
	2 月 17 日	阪神淡路大震災による被災地(神戸市)支援部隊派遣
	4 月 1 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 24 日	乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備
	5 月 27 日	消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功労として感謝状が贈られる
	6 月 30 日	緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)
	9 月 18 日	赤間出張所増築工事完了
	10 月 18 日	福岡分署内装補修工事完了
	11 月 1 日	赤間出張所8人増員、1箇分隊増強
	11 月 1 日	防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を60,000部作成し、管内全世帯に配布する
	12 月 16 日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、赤間出張所に配備
	12 月 28 日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内2カ所目)

平成 8 年 (1996)	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 29 日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入
	9 月 12 日	事務連絡車(トヨタカローラ・ワゴン)購入、本部に配備
	10 月 7 日	大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始
	10 月 28 日	宗像消防署訓練塔改修工事
	11 月 5 日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内3カ所目)
平成 9 年 (1997)	11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 1 日	調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
	7 月 7 日	査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
	8 月 28 日	福岡県知事から、消防防災功労団体として、消防本部に感謝状が贈られる
	11 月 4 日	化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備
平成 10 年 (1998)	11 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、 福岡分署に配備
	1 月 27 日	宗像消防署・福岡分署・大島分遣所改修工事完了
	3 月 7 日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られる
	4 月 1 日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から 宗像地区消防組合に移管される
	11 月 25 日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備
	12 月 21 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、 赤間出張所に配備
平成 11 年 (1999)	3 月 31 日	財務会計システムを更新
	11 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、 神湊出張所に配備
	11 月 18 日	指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備
	11 月 26 日	福岡分署倉庫新築
平成 12 年 (2000)	4 月 1 日	五代目消防長 吉武秋生就任
	4 月 17 日	消防車救急先行システム開始
	6 月 8 日	五代目組合長 池浦順文氏就任
	8 月 29 日	救助工作車(日野KK-GD1JGDF)購入、本署に配備
	10 月 17 日	広報車(トヨタカルディナ)購入、福岡分署に配備
平成 13 年 (2001)	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月 1 日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、 本署に配備
平成 14 年 (2002)	1 月 29 日	消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	2 月 1 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、本署に配備
	2 月 15 日	神湊出張所倉庫増築工事完了
	4 月 1 日	消防吏員 3 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備
平成 15 年 (2003)	4 月 1 日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生
	4 月 8 日	消防吏員 5 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 25 日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
	8 月 4 日	赤間出張所屋根防水工事完了
	8 月 4 日	神湊出張所外壁塗装工事完了
	8 月 29 日	資機材搬送車購入、本署に配備
	10 月 1 日	六代目消防長 木村幸雄就任
	4 月 7 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 16 年 (2004)	7 月 10 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
平成 17 年 (2005)	1 月 24 日	旧福岡町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生
	1 月 24 日	六代目組合長 原田慎太郎氏就任
	1 月 31 日	本部(署)庁舎増改築工事完了

	3月	28日	旧大島村が宗像市へ編入合併
	3月	28日	七代目組合長 池浦順文氏就任
	3月	31日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
	4月	1日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録
	4月	1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12月	17日	本部(署)庁舎改築第2期工事着工
	12月	19日	災害対応特殊高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備
平成 18 年 (2006)	3月	7日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
	4月	1日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	4月	1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	28日	福岡県総合防災訓練実施(福津市西福岡)
	12月	21日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成 19 年 (2007)	1月	1日	消防本部に救急課を設置
	3月	31日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散

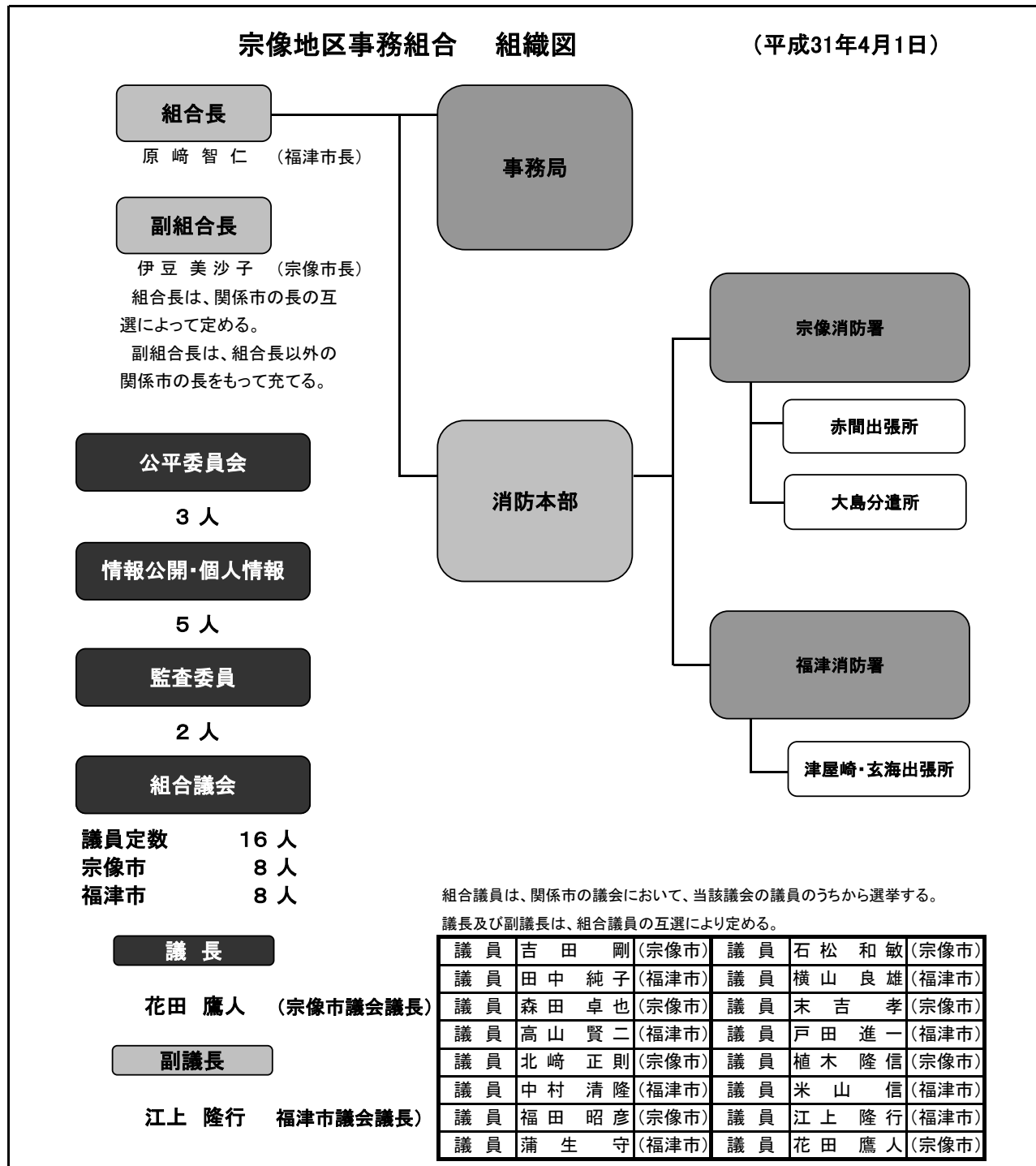
※ 平成19年4月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。

平成 19 年 (2007)	4月	1日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4月	1日	初代組合長 池浦順文氏就任
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9月	1日	IP・携帯電話発信地表示システム運用開始
	11月	1日	財務会計システムを更新
平成 20 年 (2008)	3月	31日	訓練塔補修工事(屋外階段設置等)完了
	4月	1日	消防吏員6人採用、内4人が福岡県消防学校初任教育に入校
	6月	16日	消防本部庁舎空調機器改修工事完了
	10月	1日	消防吏員1人採用、内3人が福岡県消防学校初任教育に入校
	10月	31日	人事情報システム導入
平成 21 年 (2009)	1月	23日	福岡無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
	2月	24日	消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施(フィールドテスト)
	3月	6日	二代目組合長 谷井博美氏就任
	4月	1日	七代目消防長 乙藤富雄就任
	4月	1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月	21日	庁舎耐震診断実施(本署・福岡分署)
	8月	24日	赤間出張所の全面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(85.2㎡)
	12月	10日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、本署に配備
平成 22 年 (2010)	2月	1日	事務局移転(宗像市多禮298番地)
	4月	1日	宗像地区事務組合水道事業統合
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	21日	三代目組合長 小山達生氏就任
	10月	1日	119番緊急通報に係る位置情報通知システム(統合型)運用開始
	10月	1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 23 年 (2011)	2月	25日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	3月	14日	東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各1隊(7人)出動
	4月	1日	八代目消防長 門脇 豊就任
	4月	1日	消防吏員6人採用、内3人が4月、内3人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校

平成 24 年 (2012)	12 月 27 日	消防情報表示システム地図検索データ改修完了
	3 月 28 日	消防救急無線デジタル化基本設計完了 消防指令システム地図検索データ改修完了
	4 月 1 日	消防吏員3人採用、内2人が4月、内1人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 21 日	四代目組合長 谷井博美氏就任
	6 月 14 日	赤間出張所外部改修工事完了
	9 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	9 月 24 日	高機能消防指令センター中間整備事業完了
平成 25 年 (2013)	11 月 8 日	宗像消防署訓練塔改修工事完了
	2 月 21 日	人員搬送車を更新
	3 月 19 日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
平成 26 年 (2014)	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 16 日	福岡分署公共下水切替及び1階2階トイレ改修工事完了
	2 月 3 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
	3 月 5 日	支援車(日産エクストレイル)購入、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	交替制勤務職員の勤務体制を三部制から二部制とし運用開始
	5 月 21 日	五代目組合長 小山達生氏就任
平成 27 年 (2015)	7 月 11 日	福岡分署空調設備取替工事完了
	12 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
	12 月 25 日	小型動力ポンプ付積載車(ダイハツハイジェット)購入、大島分遣所に配備
	3 月 18 日	宗像消防署訓練塔屋上鉄骨補強、塗装工事完了
	3 月 18 日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 20 日	署活動用無線機を購入、署所へ配置
平成 28 年 (2016)	9 月 3 日	事務連絡車(日産ウイングロード)購入、消防総務課に配備
	10 月 1 日	大島分遣所の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	11 月 13 日	宗像地区消防本部屋上高圧線修繕工事完了
	2 月 5 日	化学消防ポンプ自動車(日野SDG-GD7JGAA)購入、本署に配備
	2 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車を「カンボジアでの不正を許さぬ会」を通してカンボジア王国:シアヌークビル特別市へ寄贈
	3 月 30 日	福岡市消防局へ消防救急デジタル無線を接続完了
	3 月 30 日	株式会社木村組より高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)1台が寄贈される、本署に配備
平成 29 年 (2017)	4 月 1 日	消防吏員9人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 15 日	平成28年熊本地震により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県益城町等へ消防車3台延べ42人出動
	5 月 21 日	六代目組合長 谷井博美氏就任
	8 月 3 日	アナログ無線撤去工事
	10 月 13 日	宗像地区消防本部屋上及び2階ベランダ防水改修工事
	11 月 7 日	はしご付消防ポンプ自動車(MLLLAH5-30WG)購入、本署に配備
	4 月 1 日	九代目消防長 灘辺正信就任
平成 30 年 (2018)	4 月 1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 13 日	福岡県知事が消防通信指令事務の委託に関する規約の制定に伴う届出を受理
	6 月 27 日	査察車購入(スズキ エブリイ)、本部に配備
	7 月 1 日	むなかた・ふくつAEDステーション制度開始
	7 月 6 日	平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣消火隊として車両2台、救助艇1艇、職員延べ107人を派遣
	8 月 21 日	宗像地区消防本部屋上防水改修工事
	8 月 31 日	大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結
平成 30 年 (2018)	11 月 1 日	コンビニAEDステーション開始
	11 月 30 日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
	12 月 6 日	消防ポンプ自動車(CAFS)2台購入、本署及び赤間出張所に配備
	12 月 14 日	調査車購入、本署に配備
	1 月 15 日	災害時における消防用水の確保に関する覚書締結
	2 月 6 日	指揮自動車購入、本署に配備
	4 月 1 日	十代目消防長 永島英親就任
平成 30 年 (2018)	4 月 1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	機構改革を実施 1本部2署2出張所1分遣所体制とし、宗像消防署福岡分署を福津消防署に、宗像消防署神湊出張所を福津消防署津屋崎・玄海出張所に改める

平成 31 年 (2019)	5 月	21 日	七代目組合長 原崎智仁氏就任
	7 月	27 日	平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ 消防車1台6人出動
	11 月	5 日	乗用車(日産 セレナ)購入、本部に配備
	1 月	25 日	指令車購入、福津消防署に配備
	2 月	18 日	救助工作車購入、宗像消防署に配備
	3 月	18 日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
	3 月	29 日	本部敷地内に車庫1棟増築
	4 月	1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校

組合の組織

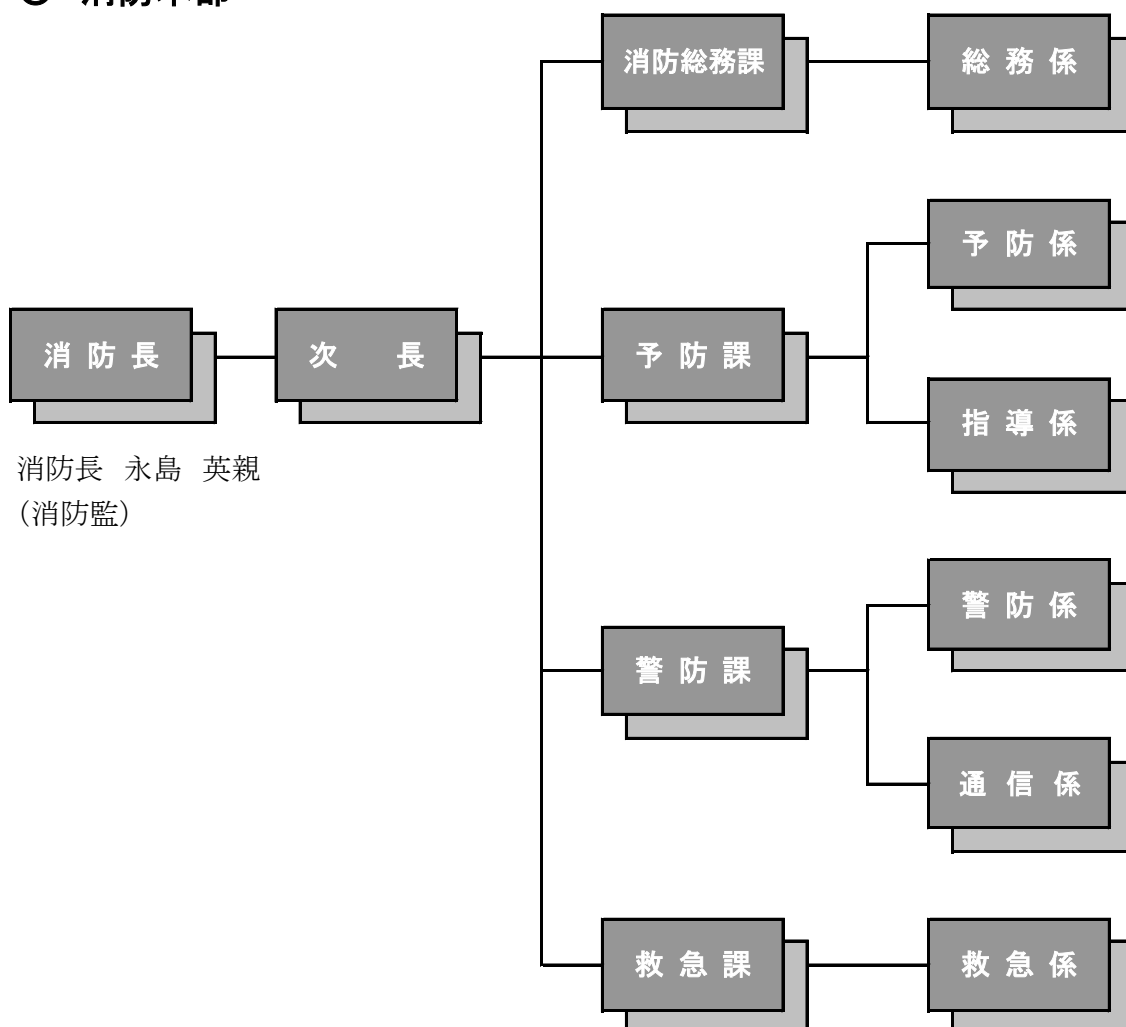


消防本部・消防署の組織

○ 歴代消防長

歴 代	氏 名	在 任 期 間
初 代	宗 實	S 49. 6. 1 ~ S 56. 12. 31
二 代	山 内 伸 夫	S 57. 2. 15 ~ S 60. 3. 31
三 代	坂 本 守 正	S 60. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
四 代	多 賀 富 男	H 6. 4. 1 ~ H 12. 3. 31
五 代	吉 武 秋 生	H 12. 4. 1 ~ H 15. 3. 31
六 代	木 村 幸 雄	H 15. 10. 1 ~ H 21. 3. 31
七 代	乙 藤 富 雄	H 21. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
八 代	門 脇 豊	H 23. 4. 1 ~ H 29. 3. 31
九 代	灘 辺 正 信	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31
十 代	永 島 英 親	H 30. 4. 1 ~

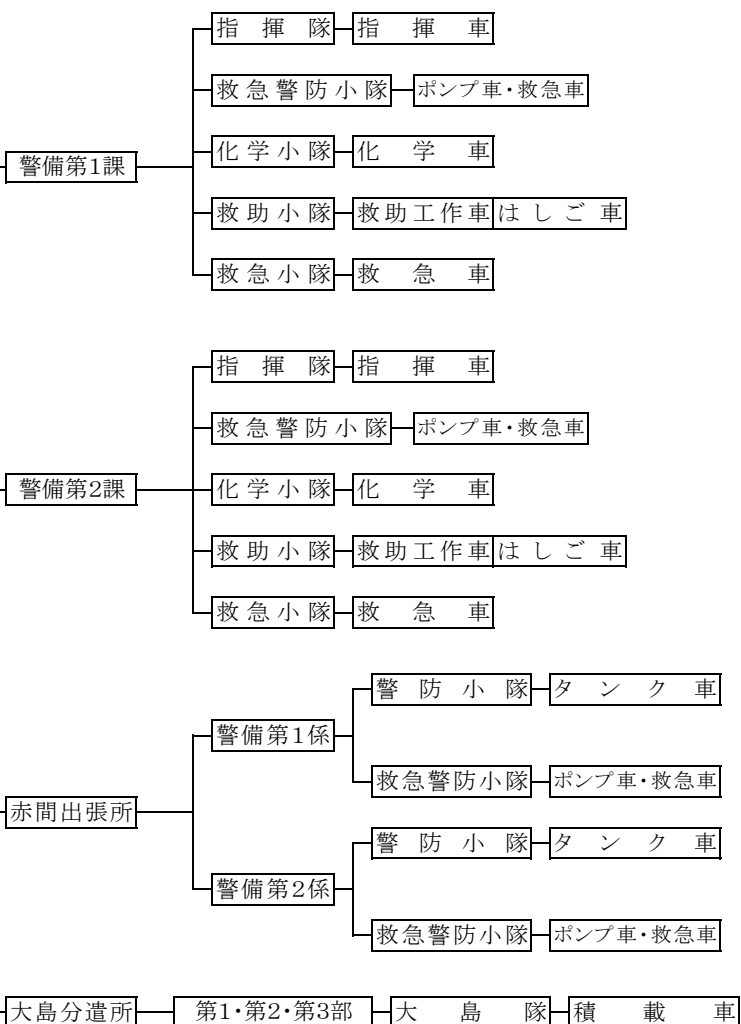
○ 消防本部



○消防署

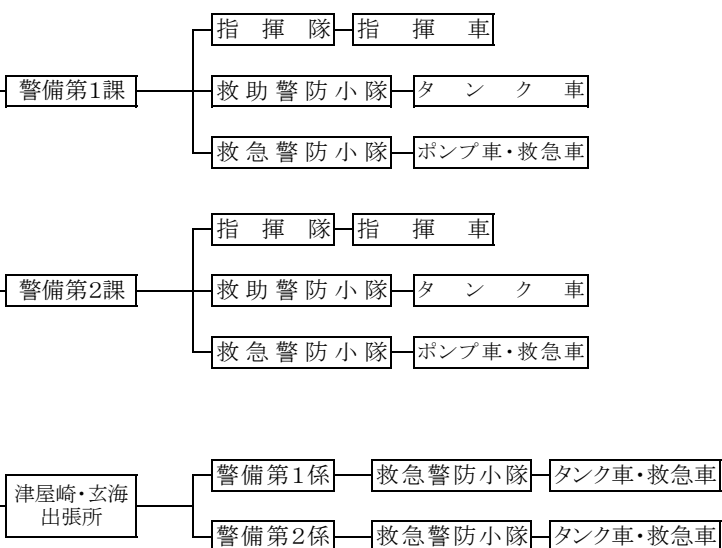
宗像消防署

署 長 副 署 長



福津消防署

署 長 副 署 長



消防本部の事務分掌

むなかたの消防

消防総務課	総務係	(1) 消防本部の組織、制度及び職務権限に関すること。 (2) 消防職員の人事に関すること。 (3) 消防職員の給与、勤務時間、休日、休暇、福利厚生及び安全衛生等の労働条件管理に関すること。 (4) 秘書及び渉外に関すること。 (5) 消防事務の企画及び管理に関すること。 (6) 消防職員の教育訓練、研修及び監察に関すること。 (7) 公文書及び公印の管理に関すること。 (8) 消防史及び記録統計の編さんに関すること。 (9) 儀式及び交際に関すること。 (10) 消防年報の作成に関すること。 (11) 消防力の整備に関すること。 (12) 消防職員の任免、分限、服務、賞罰その他身分に関すること。 (13) 消防職員委員会に関すること。 (14) 消防機械器具及び消防施設の取得、管理及び処分に関すること。 (15) 消防長会に関すること(他の課の所管に係るものを除く)。 (16) 本部内の他の課の主管に属しないこと。
予防課	予防係	(1) 危険物の規制に関すること。 (2) 危険物施設等の査察計画及び実施に関すること。 (3) 危険物施設の違反処理に関すること。 (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第36条第1項各号に規定する設置の許可又は第37条の2第1項に規定する変更の許可の意見書交付に関すること。 (5) 予防運動の計画及び調整に関すること。 (6) 防災協会の育成指導に関すること。 (7) その他危険物等の火災予防に関すること。 (8) その他予防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	指導係	(1) 建築同意事務に関すること。 (2) 防火管理者に関すること。 (3) 防火思想の普及宣伝に関すること。 (4) 防火対象物等の査察計画及び実施に関すること。 (5) 防火対象物の違反処理に関すること。 (6) 消防用設備等の指導に関すること。 (7) 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。 (8) 防災処理の指導に関すること。 (9) 消防設備士会の育成指導に関すること。 (10) その他火災予防に関すること。

警 防 課	警 防 係	(1) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。 (2) 車両等の燃料管理に関すること。 (3) 宗像地区連絡協議会に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 緊急消防援助隊に関すること。 (6) 国民保護法に関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) その他警防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	通 信 係	(1) 消防通信の業務に関すること。 (2) 消防通信施設の整備、保守管理及び計画に関すること。 (3) 気象観測及び記録に関すること。 (4) 通信統計及び通信情報に関すること。 (5) 火災警報に関すること。 (6) 庁内電話交換に関すること。 (7) 救急応需情報に関すること。 (8) 共同指令センターの運営に関すること。 (9) 消防情報支援システムの管理運営及びデータ管理に関すること。 (10) 福岡県防災・行政情報通信ネットワークに関すること。 (11) 緊急通報システムに関すること。 (12) 火災・災害等速報に関すること。 (13) その他通信業務に関すること。
	救 急 係	(1) 救急隊及び配置に関すること。 (2) 救急資器材の整備及び管理に関すること。 (3) 救急に関する行事の企画に関すること。 (4) 応急手当等の普及啓発に関すること。 (5) 患者等搬送事業者に対する指導及び認定に関すること。 (6) 救急病院等医療関係機関との連絡調整に関すること。 (7) 救急統計に関すること。 (8) メディカルコントロールに関すること。 (9) その他救急業務に関すること。

消 防 署	全 般	(1) 消防署の庶務に関する事。 (2) 文書收受及び整理保存に関する事。 (3) 公印の管理に関する事。 (4) 職員の勤務及び教養に関する事。 (5) 警備隊の配置及び運用に関する事。 (6) 災害の警戒及び防ぎよに関する事。 (7) 各種訓練に関する事。 (8) 災害、救急の調査及び報告並びに統計に関する事。 (9) 火災その他災害の原因及び損害の調査に関する事。 (10) 自主防災組織に関する事。 (11) 各種諸証明に関する事。 (12) 各種届出の処理に関する事。 (13) 備品の使用管理に関する事。 (14) 施設の整備保全及び運用に関する事。 (15) 消防署内事務の連絡調整に関する事。
	予 防 関 係	(1) 消防法(昭和23年法律第186号)第10条に規定される危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関する事。 (2) 危険物製造所等の完成検査、廃止、保安監督者選任(解任)届出、予防規程制定(変更)認可申請及び危険物変更届出に関する事。 (3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。 (4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。 (5) 危険物施設等及び防火対象物等の査察の実施に関する事。 (6) 建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関する事。 (7) 防火管理者及び防災管理者に関する事。 (8) 防火思想の普及宣伝に関する事。 (9) 自衛消防隊の育成指導に関する事。 (10) 危険物施設等及び防火対象物等の違反処理に関する事。 (11) 消防用設備等の指導に関する事。 (12) 催物その他各種届出に関する事。 (13) 防災処理の指導に関する事。

消 防 署	警 防 関 係	(1) 救助業務及び潜水業務の実施に関する事 (2) 消防水利の計画、調査及び保全に関する事 (3) 機関員等の技術管理に関する事 (4) 消防の警備計画に関する事 (5) 消防団に関する事
	救 急 関 係	(1) 救急業務の計画及び実施に関する事 (2) 応急手当等の普及啓発の実施に関する事

協定名	締結年月日	協定市町村等	応援の内容
宗像市・福津市と隣接する市外町との消防相互応援協定	昭和52年10月1日	宗像市、福津市、岡垣町、宮若市、鞍手町	水火災その他の災害
福岡都市圏市町消防相互応援協定	昭和55年3月1日	福岡都市圏内の市町等 9市、8町 5消防組合	火災、救急救助事案その他の災害
遠賀・中間地域広域行政事務組合、直方鞍手広域市町村圏事務組合、宗像地区事務組合常備消防相互応援協定	平成19年4月1日	遠賀・中間地域広域行政事務組合 直方鞍手広域市町村圏事務組合 宗像地区事務組合	火災又は地震等の災害
福岡県消防相互応援協定	平成元年3月25日	福岡県内の全市町村等 60市町村 13消防組合	大規模災害等
高速自動車道における消防相互応援協定	昭和61年10月15日	福岡県内インター所在7市1町10消防組合	全ての災害

消防本部の管轄地域

福岡県



- | | | | | |
|---------|--------|-----------|-------------|---------|
| 1 北九州市 | 6 筑後市 | 11 糸島市 | 16 春日大野城那珂川 | 21 粕屋南部 |
| 2 福岡市 | 7 行橋市 | 12 八女 | 17 田川地区 | 22 宗像地区 |
| 3 大牟田市 | 8 中間市 | 13 筑紫野太宰府 | 18 京築広域 | 23 粕屋北部 |
| 4 久留米広域 | 9 苅田町 | 14 飯塚地区 | 19 直方鞍手広域 | 24 遠賀 |
| 5 直方市 | 10 柳川市 | 15 みやま市 | 20 甘木・朝倉 | |

消防本部の主なできごと

PLAY BACK

平成30年
4月

- 11日 第41回福岡県消防職員意見発表会(福岡市)
宗像地区消防本部を代表して「柳谷 友美子」消防士が出場。
- 5日 消防吏員8人採用。
(4月5日から9月19日までの間、消防職員初任教育前期に入校)

25～27日 署内事務監査
消防本部、各署所の事務監査を実施。

5月

18日 第1回危険物試験準備講習

6月

危険物安全週間(6月3日～9日)

危険物安全週間は、平成2年消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間) に各種事業が実施されております。

10日 消防団・消防署合同水防訓練
宗像市牟田尻 「玄海地区コミュニティ・センター」で福津市と合同の水害対応訓練を実施。

25・26日 第1回防火管理者新規講習会
学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。

7月

1日 広報紙「宗像地区事務組合だより」7月号発行～通巻35号

27日 平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ派遣
消防車1台6人を派遣(7月27日から7月30日まで)

8月

2日 夏の課外授業inむなかた
「めざせ未来の消防士」を実施。18組52人が参加した。

9月

防災の日(9月1日)

8日 宗像市総合防災訓練実施(岬地区)

救急の日(9月9日)

10日～14日 中学生職場体験学習
管内7校の中学生24人を受け入れ、職場体験学習を実施。

10月

14日 宗像地区消防本部消防吏員採用試験

25・26日 第2回防火管理者新規講習会
学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。

22・23・25日 署内事務監査

11月	
1日	広報紙「宗像地区事務組合だより」11月号発行～通巻36号 <u>119番の日(11月9日)</u> <u>秋季火災予防運動(9日～15日)</u>
1日	日の里西小学校職場体験学習 小学生4人を受け入れ、職場体験学習を実施。
9日	防火パレード(宗像地区消防本部・消防団) 「火の用心」の“のぼり”を掲げた消防車両で管内を防火パレードし、防火を呼びかけた。
10日	福津市一斉防災訓練(福津市全域)
11日	第41回消防ママさんバレーボール大会 管内の19チーム226人の選手の参加により、熱戦が繰り広げられ、後日、防火教室と防災講習会を実施した。
17日	宗像市消防団中継訓練 宗像市大島で宗像市消防団と中継訓練を実施
12月	
21日	人命救助事案表彰(2人)
25～1月5日	年末年始特別警戒
平成31年 1月	
4日	署内意見発表会
11日	初期消火事案表彰(2人)
14日	平成31年消防出初式(イオンモール福津) <u>文化財防火デー(1月26日)</u> 1949年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上したことに因んで制定された記念日。
24日・25日	文化財防火デーに伴い管内の重要文化財の特別査察を実施。
25日	文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練を実施。(宗像大社) 宗像大社自衛消防隊、宗像市消防団及び宗像消防署の計119人が参加し、宗像大社付近一帯で火災防ぎょ訓練を実施。
2月	
4日	防火ポスターコンクール 管内の小学4年生を対象に作品を募集。 優秀な作品を春季火災予防運動期間中、市内の公共施設などに展示し火災予防をPRした。
7日	人命救助事案表彰(3人)
14日	甲種防火管理再講習を実施 防災設備等の高度化への順応や消防法令の改正の把握など、知識、技能の更新が常に必要であるため、5年ごとに再講習が義務づけられている。
27日	女子学生等を対象とした職業説明会参加 女子学生向けの消防職業体験イベントにブースエリアとして参加
3月	
	<u>春季火災予防運動(3月1日～7日)</u>
1日	広報紙「宗像地区事務組合だより」3月号発行～通巻37号
3日	平成30年度 消防団・消防署合同林野火災防ぎょ訓練(福津市奴山「新原・奴山古墳群」)
17日	火災予防普及啓発活動(イオンモール福津)